

アセンブリ方法

△長期間安心してホースアセンブリをご使用いただくためには、使用条件に適したシンプレックスホース・継手を選定することはもちろん、正しい方法で確実にホースアセンブリを行うことが必要です。



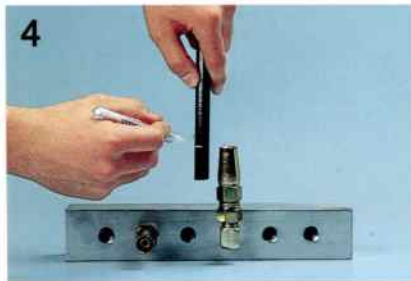
1 使用に適したホース・継手・ホースカッター・白色ペン・モンキーレンチ・シールテープ・取り外し治具を用意します。



2 CAタイプの場合
テーパねじ部にシールテープを巻き、機器のテーパねじ部に、規定トルク（※1）で接続してください。
CEタイプの場合
アダプタ（※2）を機器に取り付け、キャンパカをアダプタと規定トルク（※1）で接続してください。
※1……規定トルクは下表1参照
※2……アダプタはP3参照
△注意 規定トルク以上で締め付けた場合は継手破損の原因となります。



3 切口が直角になる様に、専用ホースカッターを使用して切断します。
△注意 切口が斜めになっている場合は、ホース抜けや洩れの原因となります。
△注意 刃物の切れ味が悪くなると切断面が情円になり、ホース挿入時にニップルOリングが外れ、洩れの原因となりますので、カッターを交換してください。
△注意 カッターの刃物部には触れないでください。



4 図の様に、ホース端部を継手ソケットの円周溝に合わせ、白色ペンを使ってホースにマークします。

呼びサイズ	挿入長さ (mm)
04	25
06	29
08	35



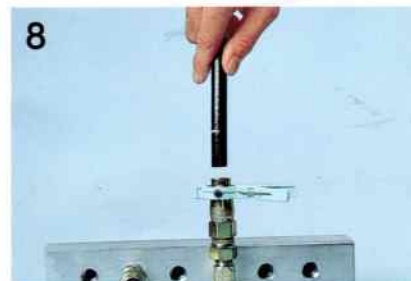
5 継手にマーク位置まで、まっすぐにホースを挿入します。
ホースの他端側も2〜5の要領で作業を行ってください。
△警告 指定された長さに正しく挿入されていない場合は、ホース抜けや洩れの原因となります。



6 加圧することにより、圧力に応じた適正なホースの加締めが行われます。
△警告 加圧するとホースが移動し、配管長さが長くなるので、機器との干渉、ホースの折れがないか確認ください。
移動量は下グラフ1を参照。



7 取り外し方法（加圧前であれば取り外し可能）
取り外し治具の先端突起部（2カ所）を継手ソケット側面の穴に差し込みます。



8 1度ホースを継手に押し込んだ後、ゆっくりとホースを引き抜きます。
△注意 加圧後はホースを取り外すことはできません。無理に取り外すと、ホースおよび継手内部部品が破損し、ホース抜け、洩れの原因となります。
△注意 加圧後のホースおよび継手の再使用はできません。

表1〈締付トルク〉 (N・m)

ねじサイズ	管用テーパねじ Rネジ	管用平行ねじ Gネジ
1/4	25 ~ 30	25
3/8	45 ~ 50	34
1/2	60 ~ 35	59

グラフ1〈加圧によるホース移動量〉

